

地方創生加速化交付金を活用した事業について

◎ 事業の名称

I o T（モノのインターネット）技術を有効活用した「新たなしごと、ひとの流れ」の創生事業

◎ 事業の目的

I o T 技術を活用した先駆性の高いエンターテイメント事業や I o T 環境の整備、システム開発等を行うことにより、中心市街地に新たな人の流れや賑わい等を創出するほか、地域内外から有能な人材を呼び込む仕組みづくりを行い、しごと創生や創業・雇用促進、更には U J I ターンによる移住・定住にもつなげる。

◎ 事業概要等

○ 採択金額 8 千万円

○ 実施主体

地元出身のゲームクリエイターである殿岡康永氏が、市内に新規設立した㈱ニュートロンスターを中核とし、商工会議所、商店街関係者、I T 系企業、群馬大学、NPO 法人、金融機関等の連携・協力による「産・学・官・金」一体となった連携体制で推進

○ 事業概要

・センサーを有効活用した GPS エンターテイメント事業

中心市街地に張り巡らせたセンサーと、スマートフォンの G P S 機能を連動させ、桐生市の街なかをテーマパーク化する付加価値の高いエンターテイメント事業を展開。観光誘客促進により、商店街の賑わい創出や経済循環の拡大等の効果に期待

・充実した I o T 環境の構築

中心市街地に先駆性が高いセンサー網を構築することにより、効果的な情報発信を行うほか、「人の流れや経済循環などのビッグデータ」を蓄積・活用できる環境を整備

・I o T 特化型システムの構築

蓄積されたビッグデータを、中心市街地でのビジネス展開やまちづくりの課題解決等で活用できる、先駆性の高いシステムを開発。システムの充実、普及を通じて、有能な人材を呼び込む仕組みづくりを行い、新ビジネスの創出、創業・雇用の拡大等を促進。

・分野横断的な移住・定住応援施策の発信

上記システムの中で、市の魅力や移住・定住応援施策等を効果的に発信

◎ 総合戦略との関連性

以下の重点施策と密接に関連し直接的な効果が期待できる。

基本目標 1（1）②空き店舗活用型 新店舗開設・創業促進事業、創業促進・支援事業

基本目標 2（1）①移住・定住情報の P R 戦略事業、定住促進（空き家対策推進）事業

基本目標 2（2）②インバウンド対策の強化

基本目標 4（2）②中心市街地再生事業